



2027年3月期第1四半期 決算説明資料

CREATIVE CONNECTIVITY
—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社（6798）
2026年7月28日

- 売上高は円安影響もあり前年同期比4.0%増の114億円に、営業利益は構造改革プログラムによる固定費削減と原価率改善により、前年同期の△2.8億円から6百万円の黒字に転換
- 経常利益は不動産収支等により3.0億円、当期純利益は1.5億円となり、概ね期初予想並みに推移

単位：百万円

	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	増減率	FY2026 上期 業績予想
売上高	11,029	11,472	4.0%	24,000
営業利益 (営業利益率)	△280 (△2.5%)	6 (0.1%)	—	200 (0.8%)
経常利益	△618	307	—	400
四半期純利益	△651	154	—	200
1株当たり四半期純利益（円）	△102.88	24.40	—	31.60
為替平均レート（1USD=）	144.54円	160.31円		155.00円

- CS : モビリティ市場、産機市場が好調に推移し増収増益
- SCI : モビリティ市場の販売が前年同期比で減少するも、固定費削減と原価率改善により赤字幅を縮小
- イノベーションセンター : 通信モジュール事業の移管と、音声分析・筋電センサーの事業化の遅れにより低調

単位：百万円

		FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
CS 事業部	売上高	5,207	5,877	+669	+12.9%	■ 車載バッテリー、電装関連が拡大 ■ 再生可能エネルギー関連が好調 ■ スマートフォン、タブレット関連が減少
	営業利益	229	269	+40	+17.7%	
SCI 事業部	売上高	5,801	5,592	△209	△3.6%	■ サニタリー用、エアコン用リモコンが堅調 ■ 車両用カメラモジュールが好調 ■ E-Bike用操作ユニット・スイッチが減少
	営業利益	△365	△188	+177	—	
イノベーション センター	売上高	20	2	△17	△86.9%	■ 前年6月より通信モジュール事業をSCIに移管
	営業利益	△144	△74	+69	—	
合計	売上高	11,029	11,472	+442	+4.0%	
	営業利益	△280	6	+287	—	

単位：百万円

	FY2025 1 Q実績	FY2026 1 Q実績	前年同期比		コメント
			増減額	増減率	
情報通信	1,554	1,156	△398	△25.6%	■ スマートフォン、タブレット関連コネクタが減少
家電	4,961	4,938	△23	△0.5%	■ サニタリー用、エアコン用リモコンが堅調 ■ アミューズメント関連コネクタが堅調 ■ 住設用、家電用リモコンが減少
モビリティ	3,532	3,832	+299	+8.5%	■ 車載バッテリー、電装関連コネクタが拡大 ■ 車両用カメラモジュールが好調 ■ E-Bike用操作ユニット・スイッチが減少
産機・その他	979	1,544	+564	+57.6%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが好調
合計	11,029	11,472	+442	+4.0%	

- 日本はサニタリー用リモコン、アミューズメント関連コネクタが堅調
- 北米はタブレット関連コネクタが減少
- 中国は再生可能エネルギー関連コネクタ、車載バッテリー関連コネクタが拡大

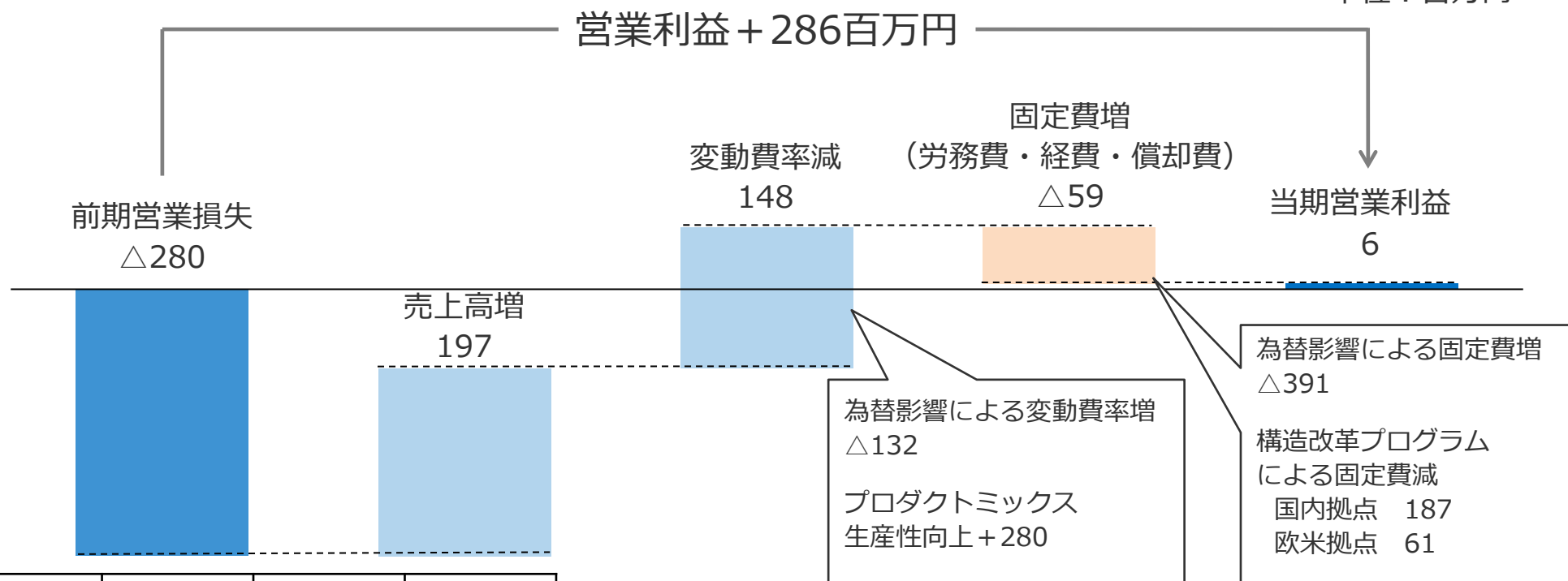
単位：百万円

	FY2025 1Q実績	FY2026 1Q実績	前年同期比		コメント
			増減額	増減率	
日本	4,030	3,974	△56	△1.4%	■ サニタリー用リモコンが堅調 ■ アミューズメント関連コネクタが堅調 ■ E-bike用操作ユニット・スイッチが減少
北米	2,240	2,174	△65	△2.9%	■ タブレット関連コネクタが減少
中国	2,249	2,813	+563	+25.1%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが好調 ■ 車載バッテリー関連コネクタが拡大
その他アジア (含む台湾)	2,063	1,931	△132	△6.4%	■ スマート家電用リモコンが減少 ■ スマートフォン用コネクタが減少
欧州	445	578	+133	+29.9%	■ 車載コネクタが増加
合計	11,029	11,472	+442	+4.0%	

※地域別内訳数値は、社内管理数値を使用しております。

- 為替影響としてRMB・RM高がマイナス要因となるも、構造改革プログラムによる固定費削減と変動費率改善により、前年同期の△2.8億円から6百万円の黒字に転換

単位：百万円



期中平均 レート	FY2025 4-6月	FY2026 4-6月	FY2026 期初予想
USD/JPY	144.54	160.31	155.00
USD/RMB	7.23	6.83	6.92
USD/RM	4.29	3.99	4.04

USD/JPY 為替感応度（1円当たり年間）
売上高 200百万円 営業利益 10百万円

為替影響 営業利益インパクト

売上高	変動費率	固定費	合計
+392	△132	△391	△131
USD/JPY	USD/RMB	USD/RM	合計
+24	△123	△32	△131

単位：百万円

	2026/3 (A)	2026/6 (B)	増減 (B) - (A)
資産	57,625	59,454	+ 1,828
現預金	9,673	11,020	+ 1,347
受取手形及び売掛金	13,301	11,867	△1,434
棚卸資産	6,741	8,060	+1,318
固定資産	26,780	27,032	+251
負債	26,468	28,156	+ 1,687
買掛金及び未払金	5,452	6,633	+ 1,181
有利子負債	14,213	14,786	+ 572
純資産	31,156	31,298	+ 141
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	54.1%	52.6%	△1.5%

■ 通期業績予想は期初予想から修正なし

単位：百万円

	FY2025実績	FY2026予想	増減率
売上高	48,204	49,000	+ 1.7%
営業利益 (営業利益率)	430 (0.9%)	800 (1.6%)	+ 86.0%
経常利益	1,243	1,200	△3.5%
当期純利益	56	800	—
1株当たり当期純利益 (円)	8.87	126.41	—
配当金 (円)	100.00 (中間 50/期末 50)	100.00 (中間 50/期末 50)	
為替平均レート (1USD=)	150.66円	155.00円	

注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。